



七松小学校 学校だより

令和3年度
3月号

尼崎市立七松小学校
校長 江上佳宏

☆ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

輝きを放つ七松の子どもたち

～1年間を振り返って～



冬らしい冷え込みが続きましたが、少しずつ確実に春が近づいています。

令和3年度もいよいよ3月を迎えました。

1年間を振り返ると、やはり新型コロナウイルス感染防止が挙げられます。

2年前、ちょうど新型コロナウイルスが問題になり始めた頃、まさかこんなに長引くなど思いもしませんでした。今では子どもたちの生活スタイルも一変し、マスク着用や給食時の黙食は定着しています。1年生や2年生は学校の給食は、黙って食べるものと思ってしまうかもしれません。

以前はどこの学校でも、開かれた学校づくりが合言葉で、保護者や地域の皆様には、いつでも子どもたちの授業を見ていただいたり、学校行事に参加したりしていただきました。しかし、このコロナ禍で地域の皆様には、感染防止対策により、学校行事等のご参加について、制限をかけざるを得なくなりました。また、プールを使用した水泳指導も2年間中止しました。令和4年度は、それらのことを踏まえた取組みを考えなければなりません。

学校の主役は子どもたちです。この1年、私は何度も教室等に赴き、子どもたちの様子を見てきました。ある教室の子どもたちは、体育か音楽に行っているのかなと間違ふほどの静けさで、扉を開けると何と35名の子どもが黙々と授業をしているという場面が多々ありました。特に歴然と感じたのは、朝の読書タイム、掃除終了後のチャレンジタイムです。それが特定の学級・学年であったり、1回や2回ではないのです。ほとんどの子どもが静かに学習している姿に驚かされるのです。

子どもたちには望ましい学習規律・学習習慣がしっかりと身につけており、基礎的・基本的な知識・技能が確実に定着しています。あまっ子ステップアップ調査（学力調査）についても、国や市の平均を大きく上回っています。これは学校だけの成果ではなく、ご家庭の取組みや地域のご支援の賜物であると感じています。

子どもたち一人ひとりが、すばらしい輝きを放っています。私たち教職員は、子どもたちのよさを掴み、さらに伸すよう工夫改善を行い、取り組んでまいります。

最後になりましたが、卒業、進級の季節です。子どもたちが一層輝き、新しい出発につながってほしいと願っています。保護者や地域の皆様、本校教育にご理解とご協力ありがとうございました。次年度もよろしくお願いいたします。